

この紙のゴール：初めて読む英文から、大意と必要な情報を制限時間内につかむ / 本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

Milk is white. That sounds too obvious to explain. But there is no white paint inside milk.

Milk is mostly water. Floating in that water are very small drops of fat and very small pieces of protein. They are too small to see one by one.

When light hits these tiny drops and pieces, it bounces off in every direction. All the colours of light bounce equally, and when all the colours come back to your eyes together, you see white. So the white you see is not a colour in the milk. It is what light does inside it.

You can check this at home. Skim milk has less fat, so less light bounces, and it looks a little blue. Clouds are white for the same reason, and so is snow, though neither of them is made of milk.

Next time something looks white, ask a different question. Not "what colour is in it?" but "what is the light doing in there?"

〔語注〕 protein=たんぱく質 bounce=はね返る skim milk=脱脂乳（脂肪を減らした牛乳）

設問 本文の内容に合うものを選ぼう。

- (1) この文章がいちばん伝えたいことは？ **思考・判断・表現** 答え（ ） 3点
- ア 白く見えるのは、光のはね返し方によるものだ
- イ 牛乳には白い色のもとがとけていて、それが光を返している
- ウ 牛乳は水とほとんど同じものである
- エ 脱脂乳のほうが体によいので選ぶべきだ
- (2) 牛乳の中に浮かんでいるものとして、本文が挙げているのは？ **知識・技能** 答え（ ） 3点
- ア かきまぜたときの空気のあわ
- イ 脂肪の粒とたんぱく質のかけら
- ウ 牛乳にふくまれる白い色素の粒
- エ 牛乳にとけている細かい砂糖の結晶
- (3) 脱脂乳について、本文の内容に合うものは？ **知識・技能** 答え（ ） 3点
- ア 脂肪が多いので、ふつうの牛乳より白く見える
- イ 脂肪がないので光をまったくはね返さない
- ウ 脂肪が少ないので、少し青みがかって見える
- エ 雲や雪と同じ材料からできている
- (4) 筆者が最後にすすめているのは？ **思考・判断・表現** 答え（ ） 3点
- ア 白いものを見つけたら、何の色のもとが入っているのかを調べる
- イ 白いものを見たら、そこで光が何をしているかを考える
- ウ 牛乳を飲む前に、成分表示を確認める
- エ 雲と雪では白さがどうちがうかを調べる

解答

(1)	ア	第3段落 the white you see is not a colour in the milk. It is what light does inside it. アは第1段落で否定されている。
(2)	イ	第2段落 very small drops of fat and very small pieces of protein.
(3)	ウ	第4段落 less fat, so less light bounces, and it looks a little blue.
(4)	イ	最終段落 Not "what colour is in it?" but "what is the light doing in there?" アは筆者が退けている問い。

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

「白い＝白い色素が入っている」という直観をひっくり返す英文です。大意→明示情報×2→筆者の提案の4問構成は他の回と同じなので、定期テストの読解大問の見本としてそのまま使えます。理科の知識で答えられそうに見えて、本文を読まないと(2)(3)が取れないように作ってあります—初見読解の設問は「知っていること」ではなく「読めたこと」を測る、という原則の実例です。

設問	型	観点	テストでの使い方
(1)	大意（スキミング）	思考・判断・表現	概要把握。「白い色素がある」という思いこみを切れるかを見る
(2)	明示情報	知識・技能	本文の言い換えを見抜く。仕組みの説明を正確に読む
(3)	明示情報	知識・技能	対比（脱脂乳・雲）の読み取り
(4)	筆者の提案	思考・判断・表現	結論段落から「読者にできること」を選ぶ

3つの版の使い分け

同じトピック・同じ設問構造で、英文の語彙・構文と選択肢の言語だけを変えてあります（基礎=選択肢も日本語／標準=選択肢が英語／発展=設問も英語）。①クラスの帯に合わせて選ぶ ②同じクラス内で配り分ける ③基礎→標準→発展と日を空けて再挑戦—の3通りの使い方ができます。正解の記号は版ごとに違います（配り分けのときの写し合い対策にもなります）。

